

9月23日 No.1458

2019年(令和元年) 週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税 (定価) 1部本体 495円+税

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

電子契約なら JEMSにお任せを!

弁護士ドットコム × 環境将軍 R
JEMS 環境将軍 0120-857-493

太陽光パネルRを開始

完全資源化も視野に

近畿電電輸送

NTTグループの協力を得て、近畿電電輸送(大阪府寝屋川市、上田一志社長)が、太陽光パネルの回収事業を展開する。長、072・823



八幡リサイクルセンターに導入した「ReSola」5は、太陽光パネルの循環処理設備を整備して中間処理事業

を開始。来年度にはリユースに向けたパネル検査事業も立ち上げ、回収資源を完全リサイクルする体制も整える。太陽光パネルの循環にトータルで対応したい考えだ。(関連記事3面)

端子ボックス、アルミフレーム、ガラス、セル層を含むバックシートとしてそれぞれ回収する。現在は端子ボックスとアルミフレーム、ガラス、バックシートを有価で売却する形だが、来年度には破砕ガラスを自社で加工し、リサイクル製品とする。完全リサイクルを実現。さらに、パネル検査システムも確立して、リユースにも取り組む構想だ。

同社は1965年の創業。電気通信資材の輸送を中心に事業展開してきた。物流事業のなかで産廃の収集運搬なども担っており、廃棄コンクリート電柱のリサイクルなど、環境分野へも事業を拡大している。昨今の自然災害の頻発と被災パネルの処理ニーズの高まり、また今後の大量廃棄物の見据えて、収集運搬だ

けでなく再資源化まで自社で行うべく、太陽光パネルのリサイクルに取り組むこととした。事業の開始以来多くの引き合いがあり、平均して月間約200枚のパネルを扱っているという。同社取締役の藤崎氏は「太陽光パネルのリサイクルは今後抱負を語った。」

の社会課題。環境を大切にしたい企業として取り組み、ビジネスとして成り立つ形を構築することが重要だ。当社がリサイクルのリーディング企業を目指し、トータルでの環境保全に貢献できるようチャレを語った。

トベ商事など6社

ケニアで現地調査開始

PETボトル再資源化の案件化

トベ商事(本社・東京、戸部昇社長、03・5902・320)を始めとする6社は8月22日、ケニア・ナイロビ地域での使用済みPETボトル再資源化に関する第1回現地調査を行い、9月11日に帰国報告会を

行った。同国では一部の使用済みPETボトルが回収され、破砕片(フレーク)に加工して輸出されているが、国内リサイクルシステムや事業の高度化は今後の課題であることがわかった。

現地調査結果では、再生PETペレットのケニア国内での利用実績はほぼないことがわかったが、「安定供給体制が整えば十分見込みがある」と考える」とトベ商事など6社は案件化調査の次の段階として、フレーク加工・再生ペレット製造の

9月5日 発生した台風15号は9月15日、関東に近・上陸し、大な人的被害・建物被害もたらした

大型の機械式選別機を導入

RPF生産や廃プラ増に対応

産廃・一廃、建物解体や中間処理、収集運搬、RPF生産などで実績を重ねる、リサイクルクリン(浜松市、藤城太郎社長、053・925・136)は、大川工場に、御池鐵工所製の機械式選別機「パリオセパレーター」を導入した。選別機を主に導入した選別ラインを導入した。

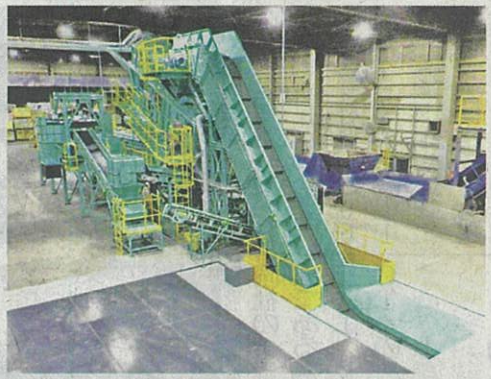
同社の袋井工場に次ぐ2台目の設置となり、大川工場では、9月から稼働を開始した。処理能力は、日量200立方メートル。処理対象物は、建設系の混合廃棄物。メイン機のパリオセパレーターは、傾斜した揺動エレメントで、これまでに選別が困難だった建設系混合廃棄物を高い精度で選別できる。材料の物性に依り、軽

量物・重量物・細粒物の3種類に選別する。設備については、軽量物は、RPF(固形燃料)の不適合物が手選別され、残りは全量がRPF原料として回収される。重量物は、磁選機を通して、金属類を回収し、省人化にも貢献した。今後、他工場と同様の選別設備を水平展開していく計画で、これまで以上のリサイクル

率を目指す。昨年からの始まった中国の環境規制で、廃プラや紙くずの輸出が困難になり、国内の廃プラを処理する中間処理工場にも荷が集まるようになった。RPF生産の工場稼働率が上がった。選別機を導入することで、燃料の品質もアップしてユーザーからの信頼度も高くなる。相乗効果がある。

製品やRPF原料の品質を向上。業務効率化するため、約4億円

高野興業



導入した機械式選別機

導入した機械式選別機

リサイクル事業高度化へ(帰国報告会のもよう)

PETボトルのリサイクルを進める必要がある(ナイロビ地域で。滝口千明氏提供)

産業廃棄物収集運搬車 株式会社 NSダイレクト 第987654号

行所 ジネス株式会社 n Vitality Victory 1 東京都千代田区神田三崎町3-1-5 262)3488 FAX03(5214)6633 4 大阪市中央区南本町1-5-11 262)2406 FAX06(6262)2090

0周年宣言 新ビジネスの礎を築く! 新社会の旗手へ!

高野興業

弥富市の破砕施設に SSI製の二軸破砕機を導入し、廃プラなど

で

製品やRPF原料の品質を向上。業務効率化のため、約4億円

海洋プラ対策など推進 国内100%循環目指す 小泉進次郎氏が大臣に就任

の相談 何でも承ります。 太洋サービ 053-447-4640 http://taiyo-ser.com

影響が出ないようにし

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始

ケニアで現地調査開始